

菊の里地区福まちだより

No.
73

2023年
6月30日発行

ホームページ：<http://kikunosato-fuku.sakura.ne.jp/index.html>



北24条桜大橋完成間近

まちづくりセンターでは
住民票・印鑑証明・戸籍謄本等を交付しています ☎871-2355

就任のあいさつ

菊の里連合町内会会長・菊の里まちづくりネットワーク協議会会長に 米里町内会会長、宮口博幸さんが就任されました



宮口 博幸 会長

菊の里地区にお住まいの皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

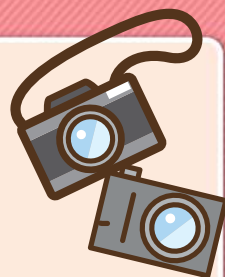
また、日頃より菊の里連合町内会・まちづくりネットワーク協議会の活動にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて令和5年度定期総会において、菊の里連合町内会会長にご指名をいただきました。微力ではありますが、関係各位、皆様のもとに頑張っまいります。

地域活動に係る皆様が一丸となり、地域の活性化・福祉の向上を目指し事業や催し物を実施いたします。多くの皆様のご参加をお願い致しまして就任のご挨拶といたします。

『福まちだより』発刊20年によせて

2000年4月、北白石連合町内会より分かれて「菊の里」連合町内会が誕生致しました。その3年後の2003年2月1日に『菊の里地区福まちだより』が誕生いたしました。ここに今年20年を迎えましたので先輩に苦勞の一端を振り返っていただきました。



『福まちだより』発刊の歩みに想う



2003年発行 No.1

2003年2月1日に福まちだより第1号が発刊され、当地区全世帯に配布されました。「福まち」って何？どんな活動するのか？の見出しが有りました。No.2以後、紙面の大小、発行部数に違いはあっても休むことなく、現在（2023年1月1日号No.72）まで続いています。

私たちの一番の悩みは、表紙を飾る写真でした。保育園、幼稚園、学校などの行事ごとにカメラマン（迷）よろしく撮影に趣きました。

単町の行事や季節の風景などを求め歩き表紙が決まると50%完了!!とほっとしたものでした。

今までに札幌市社会福祉協議会主催の広報誌コンクールで手づくり部門での最優秀賞、優秀賞を頂くことが出来ました。

2009年6月No.25よりA3サイズの2折となり、この形態がNo.64まで来ましたが、No.65より編集、印刷を業者委託として発行回数は年2回となり写真やカットなども鮮明になり、誌面も読みやすくなりました。

嬉しさと同時に一抹の寂しさもあったように思います。

これからも菊の里地区の身近な広報紙として発信される事を楽しみにしています。

元菊の里地区社会福祉協議会事務局長

元菊の里地区福祉のまち推進センター事務局長 北野 淑子さん記

(No.72より三つ折りの6ページになりました)



手作り最終 No.64



最新 No.72

白菊ふれあい広場

3年余りも我慢してきたので
皆さん何時になく楽しそうにしています。



脳トレ

今回も脳のトレーニング。
課題は、お花の名前を・・・



百人一首

3年ぶりに「百人一首」でも、
立ったままです

乙女の姿
しばし・・・



読み手も取りても元(今も) 現役、強い

南すこやか倶楽部

カーリンコンを楽しむ



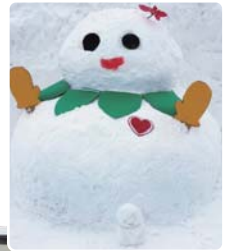
南町内会館で毎月色々なことをしてるよ
お待ちしております～

排雪前の雪山で朝早くから雪像づくり



まちセン前で

「しろっぴー」



大人でも
楽しいよ



民児協活動強化アピール実施

5/14



ラッキー菊水元町店をお借りして

クラブ交流

毎年何度か交流していた「札幌ろうあ者フロアカーリングクラブ」の皆さんと3年半振りに交流することができるようになりました。

参加人数は、半分ですが少しずつですが手話を教えて貰い、盛り上がっています。



2023年度 菊の里連合町内会各部より

総務部

5月8日から新型コロナの分類が「5類」に引き下げられました。
社会活動は大幅に緩和されますが、今後も油断せずに基本的な感染対策を行うことが重要だと思います。
このことを踏まえ、3年間中止となっていた『収穫祭』も再開がされるものと思います。
会員の皆様が、和気あいあいと行事が行われることを願っております。

社会部



5月8日から新型コロナの分類が「5類」に引き下げられましたが、3年半の感染症対策の経験を厳守しながら事業を進めていきたいと思っております。

社会部は、(防災訓練、七夕まつり、盆踊り、餅つき大会等) 世代交流の場として大人から子どもまで幅広い参加で、健康で健全な助け合い、催事にも、災害時にも繋げていけるような事業に成ればと願っております。

但し、状況により縮小や中止も有りますことをご承知おき下さい。

厚生部

昨年実施しました『パークゴルフ大会』を今年度に付きましては、9月中旬頃、人数制限のない大会開催を考えております。

令和6年3月に予定されます『フロアカーリング大会』は開催を実施したいと思いい地区センターに11月より2月の使用をお願いしてありますが、まだ、人数制限の可能性は否定できません。

厚生部の関係する各種事業も開催する見込みです。お楽しみに！



交通防犯部

年から続く新型コロナウイルス感染症の状況下でも、交通安全運動を継続してまいりました。交通安全活動に、ご理解・ご協力を頂きました皆様に感謝申し上げます。今後も感染症の状況や、これに伴う状況の変化に注視しながら、地域の実情に応じた交通安全運動を行っていく所存です。

■ 令和5年度の全国交通安全運動の推進

令和5年度の交通安全運動の重点

- (1) 子どもを始めとする歩行者の安全確保
- (2) 横断歩行者事故等の防止と安全運転意識向上
- (3) 自転車のヘルメット着用と交通ルール厳守の徹底



福祉部

連合町内会も、福祉のまち推進センターの事業も昨年以上に動きだしました。
連携を図りながら、「すこやか倶楽部」の充実に努めます。バス研修は中止です。

女性部

連町の事業が回復して大変忙しい年に成りそうです。連合町内会女性部主催のボーリング大会が実施出来るといいのですが、全体を見ながら検討を重ねています。

菊の里健康づくりフェスティバル2023

開催予定日時 令和5年9月12日 実施予定

内容

健康づくりをはじめとし、多くの協力の基に検討中、楽しいプログラムも考え中、乞うご期待！

主催

- ・菊の里まちづくりネットワーク協議会
- ・菊の里地区福祉のまち推進センター
- ・菊水元町地区センター

共催

- ・白石区第2包括支援センター
- ・白石区介護予防センター菊の里

協力

- ・白石区健康福祉部保健福祉課 健康・子ども課
- ・白石区社会福祉協議会



5月9日
実施検討会議

わくわくポケット

米里中学校の生徒による雪山づくり



写真提供：米里中学校



1月11日きくすいもとまち幼稚園で行われた、わくわくポケットの前日、米里中学校の生徒さんが先生の引率のもと、雪山作りを楽しそうにしてくれました。みんな感謝です。

お雛様を作ろう 2月24日



子ども食堂を訪問

ラパン
みんな(子ども)食堂



節分・鬼退治 1月27日



菊の里連合町内 鈴木實 会長(当時中央)
菊の里まちづくりセンター 東田所長(写真左)
菊の里地区社会福祉協議会 伊藤光夫 会長(写真左2人目)
の3名でラ・パンみんな食堂を訪問しました。

その日は、剣道八段、全国大会優勝者の栄華英幸さん(写真右)、札幌相撲連盟副理事長 若狭義浩さん(右2人目)が見えられており、子どもたちとの交流に3人も参加させていただきました。

北24条桜大橋竣工間近

2008年（平成20年）に事業計画が決まり、事業認可が平成23年7月から令和6年3月31日まで、2022年には竣工するとの噂もありましたが、工期は伸びて今年8月上旬にと言われていました。

2004年の平和大橋から19年振りの新橋の完成で、豊平川を跨ぐ36番目の橋に成ります。橋梁318.7メートル、幅22.8メートルと成ります橋桁の色は、札幌景観色の一つ「氷雨」（薄い水色）です。

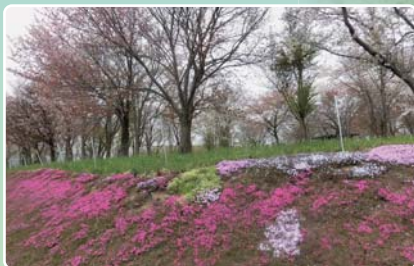
環状北大橋、札幌新道の慢性的な渋滞の緩和が是非とも叶い、便利な喜ばれる橋に成ってくれる事でしょう。

北24条桜大橋より春の「桜の杜」を望む
交通事故に注意



菊の里の桜の杜を散策

今年の桜の杜の様子です。
例年になく早い開花でした。



工事中の桜大橋

編集後記

札幌の母なる川「豊平川」。菊の里に懸る橋は今回が最後に成るのではとの思いもあり、是非『福まちだより』の誌面に完成した姿を残したいと各方面のお力を借りて、ドローンでの空撮が実現できました。

『福まちだより』にもっと文章が欲しい、添え書きを増やしてとの意見があるのか試行錯誤しています。ぜひご意見を寄せてください。



【本誌は赤い羽根共同募金助成金で発行されています】

菊の里地区福祉のまち推進センター・菊の里まちづくりネットワーク協議会

〒003-0828 白石区菊水元町8条1丁目
(菊の里まちづくりセンター内)

☎011-871-2448 / ☎871-2355